

# 図書館便い



令和5年 1月 10日  
武蔵野北高校図書館  
2023 - 1・2月号



🌸 明けましておめでとうございます 🌸

新しい年が始まりました。皆さんは次の学年や新しいステージに向けて日々努力されているところだと思います。2023年もムサキタ図書館は本との素敵な出会いをサポートしていきます。ムサキタの皆さんが目標に向かって充実した1年のスタートになることを応援しています！

## 合格鳥居

図書館入口に今年も「合格鳥居」が建立されました。皆さんに桜満開の春が訪れますように、図書館も全力で応援しています。



長期特別貸出で借りた本は、1月24日(火)までに返却をお願いします！

開館日カレンダー

1月							=休館日
日	月	火	水	木	金	土	
1	2	3	4	5	6	7	
8	9	10	11	12	13	14	
15	16	17	18	19	20	21	
22	23	24	25	26	27	28	
29	30	31					
2月							=休館日
日	月	火	水	木	金	土	
			1	2	3	4	
5	6	7	8	9	10	11	
12	13	14	15	16	17	18	
19	20	21	22	23	24	25	
26	27	28					

開館時間：8：40～16：50

700・800 芸術・言語



## 新着図書 1月 57冊入りました！

000~300 総記・哲学・歴史・社会科学

請求記号	タイトル	著者
007	5000日後の世界—すべてがAと接続された「ミラワールド」が訪れる	ケリー、ケヴィン
141	「推し」の科学—プロジェクト・サイエンスとは何か	久保(川合) 南海子
141	学びとは何か—“探究人”になるために	今井 むつみ
159	大学で何を学ぶか	永守 重信
210	ぼくらの戦争なんだぜ	高橋 源一郎
291	プラタモリ〈1〉長崎 金沢 鎌倉	NHK「プラタモリ」制作班
304	ヒトの壁	養老 孟司
311	22世紀の民主主義	成田 悠輔
312	13歳からの地政学—カイソクとの地球儀航海	田中 孝幸
321	はじめまして、法学—身近なのに知らなすぎる「これって法的にどうなの？」	遠藤 研一郎
333	グローバルゼーションとは何か—液化化する世界を読み解く	伊予谷 登土翁
335	こんな時代だからこそ学びたい松下幸之助の神言葉50	江口 克彦
343	社会的共通資本	宇沢 弘文
361	うわさとは何か—ネットで変容する「最も古いメディア」	松田 美佐
361	人びとの自然再生—歩く、見る、聞く	宮内 泰介
366	仕事と家族—日本はなぜ働きづらく、産みにくいのか	筒井 淳也
367	子どもが育つ条件—家族心理学から考える	柏木 恵子
368	ルボ自殺—生きつづらさの先にあるのか	渋井 哲也
369	消防レスキュー隊員が教えるだれでもできる 防災事典	タイチョー/みぞぐち ともや【イラスト】
371	学校に行けない「からだ」	諸富 祥彦
377	国公立大学 by AERA〈2022〉未来を変える大学選び	AERAMック
378	ICT×インクルーシブ教育—一人取り残さない学びへの挑戦	鈴木 秀樹
386	クリスマスの文化史 (新装版)	荻林 ひとみ



『語学の天才まで1億光年』  
高野 秀行 著  
探検好きで25以上の言語をモノにしてきた著者が、辞書も教科書もない辺境の言語を、聴き取り、ノートに書き写し、自分で法則性を見つけてゆく物語。破天荒で壮大な語学青春記。

900 文学

請求記号	タイトル	著者
913.2	イラスト&図解 知識ゼロでも楽しく読める! 古事記	谷口 雅博【監修】
913.6	月まで三キロ	伊与原 新
913.6	いまは、空しか見えない	白尾 悠
913.6	駅の名は夜明	高田 郁
913.6	火のないところに煙は	芦沢 央
913.6	invert〈2〉覗き窓の死角	相沢 沙呼
913.6	震える天秤	染井 為人
913.6	あちらにいる鬼	井上 荒野
913.6	明るい夜に出かけて	佐藤 多佳子
914.6	「自分の木」の下で	大江 健三郎/大江 ゆかり【画】
914.6	パリの空の下で、息子とぼくの3000日	辻仁成
932	ハムレット (改版)	シェイクスピア、ウィリアム (Shakespeare, William) / 梶田 恒吉【訳】
933	ヨルガオ殺人事件〈上〉	ホロヴィッツ、アンソニー
933	ヨルガオ殺人事件〈下〉	ホロヴィッツ、アンソニー
936	テヘランでロリータを読む	ナフィシー、アーザル



『invert〈2〉覗き窓の死角』  
相沢 沙呼 著  
嵐の山荘に潜む若き犯罪者。そして、翡翠をアリバイ証人に仕立て上げる写真家。犯人たちが仕掛けた巧妙なトリック。犯人視点で描かれる倒叙ミステリーの金字塔。



『月まで三キロ』  
伊与原 新 著  
科学が解き明かし重ねて来た現象や知識と、人の活動や心理観念の様なものとの融合。ままたらない人生を、月や雪が温かく照らし出す感涙の傑作六編。

## 18歳成人・大学生生活がテーマの本

『六人の嘘つきな大学生』朝倉 秋成 著

就職活動を題材に、不安定な学生たちの心理を巧みに利用した究極の心理戦と推理の読みあいが面白い。表の顔はどう見せるか？に着目したミステリー小説。怒涛の伏線の回収も注目です。

『風が強く吹いている』三浦 しをん 著

箱根駅伝を舞台に竹青荘に住む個性豊かなメンバーたちと繰り広げられる挑戦と友情を描いた物語。メンバーの人間的な成長に重点が置かれていて、駅伝ファンでなくとも、走ることの喜びや達成感を味わえる作品です。

『大学で何を学ぶか』永守 重信 著

大学選びから大学での学び、友達づくり、仕事についての考え方、社会に出てから伸びる人材についてまで、充実した大学生活を送るアドバイスを多数収録。

『22世紀を見る君たちへ』平田 オリザ 著

現行の大学入試制度のままでは多様性が求められる世界の潮流に乗り遅れ、やがて日本は取り残されてしまうだろうという警鐘とともに、これから生きる子どもたちは今後、どのような能力が問われ、どのような資質が必要となるのかを考える作品です。

『18歳からの民主主義』岩波新書編集部 編

さまざまな世代からの「民主主義」を考える一冊。憲法、景気、雇用、教育、医療、社会保障、税金などの観点から選挙のポイントをそれぞれの専門家がわかりやすく説明している。

『これを知らずに働けますか？』竹信 三恵子 著

学生からの質問に答えていく形式で仕事選び、賃金、労働組合、ワークライフバランス、解雇など、働く人を守る基礎知識を大解説。アルバイトを始める人にもおすすめの1冊。

400~600 自然科学・技術・産業

請求記号	タイトル	著者
401	科学的とはどういう意味か	森 博嗣
401	科学者が人間であること	中村 桂子
404	未来の科学者たちへ	大隅 良典/永田 和宏
453	噴火と寒冷化の災害史—「火山の冬」がやってくる	石 弘之
468	イラスト&写真でやさしく解説 よくわかる土中環境	高田 宏臣
490	医と人間	井村 裕夫
491	最強脳—『スマホ脳』ハンセン先生の特別授業	ハンセン、アンデシュ
493	ぼくらの中の発達障害	青木 省三
495	こんにちは！生理	スタインズ、ユミ (Stynes, Yumi) / カン、メリッサ
498	キラリ看護	川島みどり
527	家好き芸人アンガールズ・田中が行く！建築家の自邸探訪	田中卓志
548	人に優しいロボットのデザイン—「なんもしない」の心の科学	高橋 英之
686	につぼんの鉄道150年—蒸気機関車から新幹線、リニアへ	野田 隆
689	ディスプレイキャストざわざわ日記—「夢の国」にも××××ご指示のとおり掃除します	笠原 一郎
699	テレビの日本語	加藤 昌男